

「流浪のケーソン、神戸ですいません」

「流浪のケーソン、神戸一人旅」「流浪のケーソン、神戸に行ってきました」

はじめまして、私は東京頸損連絡会に一応所属しております、中 順也(なかじゅんや)と申します。

先日、兵庫県神戸市後援、日本福祉のまちづくり学会関西支部主催《第29回福祉のまちづくり関西セミナー》テーマ「神戸ユニバーサルツーリズム、みんな遊びにでかけよう！」という催しに東京から一人で参加してきました。そこで色々と面白い経験をして、その体験記を書きましたので少々お付き合い下さい。本文に入る前にちょっと自己紹介です、私は1988年16歳の時ラグビーの試合中に受傷し(C3,4)、左腕だけ腕の曲げ伸ばしができるので、普段は自助具を使って車椅子の操作と食事をし、テーブルの上の細かい動作(パソコン、携帯電話、リモコン、本のページめくりなど)はマウススティックで行うケーソンです。車椅子は自分の身体に合わせて作ったティルティングの付いた車椅子にアイシン精機のタオライト2(電動パワーユニット)を装備したもので行動しております。ちょこちょことあちこち旅をしているので、「流浪のケーソン」などと呼ばれています。(ウソです)

日本福祉のまちづくり学会は、すべての人が安心して暮らすことのできる街、住まい、交通、暮らしについて、法律や社会福祉などと工学などあらゆる分野が結集し、さまざまな「福祉のまちづくり」について研究・開発していくことを目指して、平成9年7月設立されました。日本福祉のまちづくり学会関西支部サイトより。

まず何故私とそのセミナーに参加することになったかと言うと、9月の中頃、兵庫県頸髄損傷者連絡会の金髪名物事務局長であり、私とは会えば兄弟と呼び合う宮野秀樹氏より、今度10月13日(土)に神戸であるセミナーが開催されるので前日の12日に神戸の町を観光してもらい、13日にその体験を皆の前で話してほしい、すべて「ご招待」やで、と言う電話があったのです、思わぬ誘いに即「OK」の返事をしたかったのですが、私は泊まりで一緒に行ってくれる介助者というものが皆無に近く、どうしたものかと悩んでいると、「神戸まで来ればユニバーサルツーリズムコンシェルジュ神戸事務局「WING KOBE」という障害者・高齢者の神戸の旅をサポートする人達がやってくれるで」、と言うのでした、しかし神戸まで来ればと言われても、どうやって神戸まで行くねん、と悩み多き三十五歳が数日間

考えた結果、「東京駅まで行ければ新幹線で新神戸駅まで乗り換え無しで3時間、向こうでは介助者も用意してくれると言っているし、しゃあない一人で行くか」という結論に至り、参加することに決めたのでした。

10月初めから「WING KOBE」の方たちや神戸学院大学総合リハビリテーション学部のKさんと電話やメールで打ち合わせをし、日程は10月12日(金)~14(日)の2泊3日で行くことに決定、なぜ13日に終わるのに14日までいるのかというと、せっかく兵庫まで来たとし宮野氏もパネリストとして参加するというので、常々兵庫の秘境に独りで住むケーソンがどんな生活をしているのか興味があったのと、何か怪しいことをやっているのではないかという噂もあり、それを確かめるのにいい機会だったので、図々しくもセミナー後宮野氏の車に便乗し、宮野宅へ泊めてもらうことにしたからなのでした。

12日(12)、朝6時30分自宅を出てタクシーで東京駅へ、8時10分、新幹線の個室に乗り込む、室内で聞くためケータイに音楽やラジオを目一杯録音してきたもののスピーカーだと全く聞こえず3時間何もする事が無くなる…。11時5分新神戸駅に無事到着。美人の乗務員に連れられ改札に着くと、「WING KOBE」の皆さんや福祉のまちづくり学会の方々、総勢8人(位)が出迎えてくれました、いやはや恥ずかしいではありませんか、安堵と緊張で引きつった笑顔で挨拶をすませ、新神戸駅向かいの新神戸オリエンタルアベニュー内のカフェで一服。時間もないのでそこから早速観光へ出発、地下鉄に乗り三ノ宮センター街へ、総合案内は「WING KOBE」コンシェルジュのSさんが担当、町の説明からエレベーターやトイレの場所まで事細かく案内をしてくれる、ちなみに電動車椅子の方なので目線とペースが一緒に非常に行動しやすい、三ノ宮センター街は、私の興味を引きそうなものが無くただ通り過ぎていくだけでしたが、その間も細かくセンター街の事を説明してくれました。そのまま南京町へ行き昼食(しかししっかり食べておかなかったため後で血糖値が下がりへろへろになる)、食後中国物(中国風?)の雑貨店へ、雑貨好きの私にはたまらない店ばかり。そこから旧居留地を通りメリケンパークへ、しかし感じたのは神戸の町は道路から歩道に上がる時や降りる時の段差が殆ど無く、後日調べてみると神戸市は『神戸市バリアフリー道路整備マニュアル』というのがあり高齢者や身体障害者の利用の多い場所の、歩道の幅、歩道の勾配、横断歩道部には、0~2cmのすり付け縁石を採用する、など道路整備基準というものがあるそうで(神戸市建設局道路部のサイトより)、どうりで歩道は車椅子二台が並んで走れるくらい広いし、私のパワーの無い電動車椅子でも移動しやすい

筈だと、一人感心した次第でありました。メリケンパークでは震災の写真やSさんなどから当時の様子を聞く、なんともいたたまれなくなる。それからすぐ隣にある本日の宿、ホテルオークラ神戸で休憩、ホテルオークラ神戸はなんとあの藤原紀香と陣内智則という人達(正直よく知らない)が結婚式を挙げたところだそうだ、私の部屋は22階の港全体を見渡せる素晴らしく景色の良いバリアフリールームで、ベッドは電動の背上げ機能が付いている、国内外のバリアフリールームをいくつか利用してきたけれどこれは初めてで、非常に助かりました。休憩後神戸ポートタワーの下を通り、神戸ハーバーランドの海際に広がる複合商業パーク、モザイクへ、そこでSさんと別れ、残った人達で煉瓦倉庫レストランへ、5時30分頃ちょっと早い夕食。食後ホテルへ戻り皆さんと別れ、介助者の交代、それまでの介助の方が私の介助の仕方を次の方に抜かりなく説明してくれてすごく助かりました。交代した介助のHさんと坊主頭同士で肩を組み、暫く港の夜景を眺めた後(ウソです)、ホテルの人に手伝ってもらい、ベッドへ移乗、就寝。

13日(土)いよいよセミナーの日です、9時30分朝食を済ませチェックアウト、ロビーで介助の交代、セミナーの行われるニチイ学館ポートアイランドセンターへ。ニチイ学館へはホテルから少し移動し地下鉄に乗って三宮駅へ行き、ポータルライナーに乗り換えポートアイランドみなみ駅で降りると直ぐのところにあります、そこへ行く前に、すぐ隣にある神戸花鳥園に寄り、見学会及び昼食です、神戸花鳥園とは、まさに花と鳥(特にフクロウが沢山)のパラダイスで、子供から高齢者から障害者から、とにかくみんなで楽しめるところです、花に囲まれ鳥と戯れ、いやはやなんとも癒されます。

その後ニチイ学館へ行き13時30分シンポジウムがスタートしました。初めに「WING KOBE」代表のKさんの基調講演、次に私と大分県から参加されたケーソンのSさんと一人ずつ体験報告、時間も10分間とたつぷり、準備が大変だったこと、昨日訪れた場所のこと、旅行で支援費が使えるようにならないか等々、話すことを決め皆の前へ、10分後、殆ど何もしゃべれないまま席に戻る…、関係者の皆様、役立たずですいませんm(_ _)m、その後パネルディスカッション、宮野氏はじめパネリストの方々が今後の福祉のまちづくりについて熱い議論を交わす中、私は早くこの場から立ち去りたいとセミナーが終わるのをひたすら待つのみでした。セミナーが終わり、関係者の方々の顔をなるべく見ないように挨拶をすませ、そそくさと宮野氏の車へ、助手席に乗り移してもらい、見送ってくれた方々に「すみません、すみません」と心の中でつぶやき宮野宅へ向かいました。

今回の旅の感想ですが、神戸の町もきれいで車椅子でも移動しやすく素晴らしかったのですが、何よりも「WING KOBE」はじめ福祉のまちづくり学会関西支部の方々の明るくあたたかい人柄にふれられ、いやはやなんとも忘れられない素晴らしい経験をさせていただきました。また、もし神戸に行ってみたいけど、介助者もないしちょっと…、と思っている方は「WING KOBE」の方にぜひ相談だけでもして下さい、きっとやさしく相談に乗ってくれます、細かいことは下記のサイトをご覧ください。ではでは、以上、「神戸 一人旅」中 順也でした。宮野宅訪問記「兵庫の秘境に暮らすケーソンは実在した!」の話も書きたかったのですが都合上割愛させていただきます。

<http://wing-kobe.org/intro.htm>

ユニバーサルツーリズムコンシェルジュ神戸「WING KOBE」

<http://www.assistech.hwc.or.jp/gakkai-kansai/index.html>

日本福祉のまちづくり学会関西支部

<http://www.kobe.hotelokura.co.jp/index.html>

ホテルオークラ神戸

<http://www.kamoltd.co.jp/kobe/>

神戸花鳥園